

第四回

蝶々会



令和元年六月一日(土) 正午開演

東京証券会館ホール

ご招待

ご挨拶

初夏の候、皆様にはご機嫌麗しくお過ごしのこととお喜び申し上げます。この度は、令和元年初の蝶々会を開催致します。この会は薺派会正会員の日頃の研鑽の成果を皆様に聴いていただき、それぞれが一段と成長するための会でございます。忌憚のないご意見、ご感想をいただけますなら、この上ない幸甚と存じます。どうぞごゆつくりと、薺派の粋な小唄をお楽しみ下さい。

薺派会会長 薺 胡満佳  
役員一同

番組

唄

糸

御祝儀

よきことを

加津柳 富 菫子

は留乃 競 文芳

○史ま由

○鈴緒

薺の花

満沙

茂和香

輝光しず

房まさ香

胡葉和

まさ八重



15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
天竜下れば	潮来の雨笠	中洲河岸 夕立のきつと	影絵	夏の先に雨	残る月	薄雲太夫 朝顔	あの日から あじさい	惚れて通うに とめても帰る	話のかけ橋 恋のかけて	手が 夕がらす紙	春浅き	茶のところが まかせたからは	月見草	白魚舟
初英	邦美	実乃絲	初奈	涼恵	邦直	涼久美	胡涼英	蝶弥	涼谷	邦毬	史櫻	満井涼	三千野	紫加良
替初初 奈野	房邦	史実	初野	満沙	房邦	満沙	涼恵	胡里	涼恵	房邦	史実	満喜代	競雪野	替史津留浅よ 実

二時頃

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16
梅のた実 ぬれてみたさ	向島名所	五月雨に池 せじでまるめて	なす二人び 首尾も	夏景色	佃の渡し 折よくもし	春霞引くや 夏の雨	空ほのぐらき 士農工商	桜のりの蕾 からくりの	浜町河岸	逢うて別れて お互いに	辰巳の左褌	雨やまどり さつまどり	めぐる日の 晴れた庭の木	傘のごうみち ひと
胡葉音	輝光しず	茂喜代	胡文ひろ	鈴緒音	は留乃	加津柳	房まさ香	ちよ房	葉留助	実咲	まさ八重	胡葉和	茂毬代	胡文歩
胡葉菊	輝光	茂和香	胡文雄	鈴緒	替胡延は 宏留	胡鈴子	まさ八重	胡文雄	シ茂和香 胡茂	史実	房まさ香	胡葉菊	茂和香	胡文雄

三時頃

45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31
黒木売	恋地獄	恋矢の味車	未練酒	三社祭	夕立や田をし	若紫	うその固まり 紺の前垂れ	七宵の口 夕説	花の雲	夜中洲河 桜岸	一 声は	一あ じさをい	蟬し ぐれ	二磯の 日も 酔め
葉留幾	静竜	胡葉祇	富花子	胡葉助	鈴子正	初野	胡茂	胡満里	競照文	は留悠	競文芳	胡満佳世	胡志枝	鈴美緒
津留浅よ	替之競 比呂代	胡伊葉	花舟	史ま由	替鈴子 ふじ	替之競 比呂野	茂喜代	胡満佳乃	競文芳	替延は 留乃	競照文	胡満佳乃	胡文雄	鈴緒

五時頃

60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46
桂川	築地明石町	吉三節分	もやいと 好き好き舟	川水	京のからす	髪結新三	佃が ばやし	雨り	牽牛花	めぐる日 (夏)	今日も又	春雨に 降られて	仇な か笑顔	雨の 鎌倉
津留葉	津留稚加	胡薙	胡伊葉	胡菜三	史実	胡文雄	胡満佳	房邦	房まさ	鈴緒	胡一舟	競三	史ま由	輝光
低史胡 実宏	胡文雄	胡宏	替胡葉 菊助	替之競 比呂代	胡宏	胡鈴子	胡満佳乃	邦美	替房まさ 八重香	替史胡 文雄	替史津 留浅よ	競雪野	胡葉助	鈴緒

午後五時半頃終演予定





東京証券会館ホール 茅場町駅出口8番  
住所 中央区日本橋茅場町一―五―八  
電話 〇三(三六六七)九二一〇

お問い合わせ

蓼派会事務局

蓼 蝶 弥(武藤理代)

電話 〇四二二(五三)三二二三

E-mail [info@tadeha.jp](mailto:info@tadeha.jp)

URL <http://www.tadeha.jp/>

